



防災対策情報便

令和7年 vol. 3

01 家庭での“防災はじめ”

新しい年の始まりは、家庭の防災対策を整える絶好のタイミングです。非常食や飲料水の賞味期限、モバイルバッテリーや懐中電灯・携帯ラジオの動作確認を、年始のタイミングでぜひ見直してみましょう。

また、家具の固定やガラス飛散防止フィルムなど日頃気になっていた対策を、この機会に行っておくと安心です。“防災はじめ”で、1年を安全にスタートしましょう。



この機会に、家庭で備えておくものもチェックしよう！

新しい一年のスタートに、家の安全もきちんと整えておくことが大切だね！



家に置いておくもの

- ☐ 水 (1人1日3ℓ)
- ☐ 野菜ジュース
- ☐ 無洗米
- ☐ 紙皿・紙コップ・割りばし
- ☐ カセットコンロ (ガスボンベ含む)
- ☐ 簡易トイレ (1人1日6回分)
- ☐ ティッシュ、トイレトペーパー
- ☐ ドライシャンプー
- ☐ マスク
- ☐ アルコール消毒液
- ☐ 毛布・アルミブランケット
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 給水タンク・給水袋
- ☐ ビニール袋・ゴミ袋

※…普段使いし、非常時に持ち出すもの

- ☐ 眼鏡・コンタクトレンズ※
- ☐ 弾性ストッキング
(避難生活でエコノミークラス症候群を防ぐ)
- ☐ 布製ガムテープ
- ☐ 輪ゴム
- ☐
- ☐

非常持出品として
玄関などに
置いておこう！



非常持出品

- ☐ 水
- ☐ アルファ化米・カップ麺・缶詰・レトルト食品など
- ☐ お菓子 (あめ・チョコレートなど)
- ☐ 携帯用トイレ
- ☐ お薬手帳・薬※
- ☐ 下着・着替え・タオル
- ☐ 噛む歯磨き・歯磨きセット
- ☐ 救急セット (消毒液・ばんそうこうなど)
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ 笛や防犯ブザー
- ☐ 現金 (小銭含む)
- ☐ 日常生活での必需品※
(スマホ・マイナンバーカードなど)
- ☐ ポータブル充電機 (スマホ用など)※
- ☐ 携帯充電用ケーブル
- ☐ 携帯ラジオ (手回し式など)
- ☐ LEDランタン・電池
- ☐ はさみ・カッター
- ☐ 筆記用具 (ペン・ノート・マジック)
- ☐ ラップ・アルミホイル
- ☐ 雨がっぱ
- ☐ 軍手
- ☐ 折りたたみスリッパ
- ☐ マイ避難カード
- ☐ 通帳
- ☐ 印鑑
- ☐ 免許証などのコピー

非常持出品に、さらにプラス！

女性の備え

- ☐ 生理用品
- ☐ サニタリーショーツ
- ☐ おりものシート
- ☐ 中身の見えないゴミ袋
- ☐ ポンチョ (目隠し用)
- ☐ 基礎化粧品・コスメ用品※
- ☐
- ☐
- ☐

子どもがいる家庭の備え

- ☐ 粉・液体ミルク、離乳食
- ☐ 使い捨て哺乳瓶
- ☐ おむつ・お尻ふき
- ☐ 抱っこひも※
- ☐ 子どもが落ち着くもの※
(おもちゃ・お菓子など)
- ☐ 子どもの靴※
- ☐ 母子手帳※
- ☐ 授乳ケープ
- ☐ 母乳パッド

高齢者がいる家庭の備え

- ☐ 介護食
- ☐ 入れ歯・洗浄剤※
- ☐ 杖※
- ☐ 補聴器※
- ☐ 大人用紙パンツ
- ☐ 介護用品
- ☐
- ☐
- ☐

ペットがいる家庭の備え

- ☐ ペット用のシート、おむつ
- ☐ 首輪・リード・ハーネス
- ☐ ペットフードや水
- ☐ ネームプレート (連絡先付)
- ☐ ケージ
- ☐ 狂犬病等ワクチン接種証明
- ☐
- ☐
- ☐

近くの避難場所を確認しておきましょう。

市内には令和7年12月時点で85施設の指定避難場所と、370施設の津波等一時避難場所があります。

ハザードマップや尼崎市HPで家の近くやよく行く場所の避難場所を確認しておくことが大切です。



津波等一時避難場所



津波や洪水が発生した場合や発生のおそれがある場合、一時的に避難できる場所です。避難情報が発令された際に避難可能です。

指定避難場所



災害により住まいを失った場合や、災害発生後に災害の危険性がなくなるまで避難する場所です。

02 兵庫県津波一斉避難訓練

11月5日（水）に、兵庫県津波一斉避難訓練を行いました。

今年度は、大高洲町、東海岸町、鶴町の各事業所の皆様にご参加いただき、南海トラフ巨大地震発生後に津波が発生したことを想定し、クリーンセンター大高洲庁舎（大高洲町2番地）に避難しました。

この訓練では、津波発生時の避難場所や避難行動の確認と避難訓練後の防災講座を行い、参加者からは「津波発生時にどうすればよいか知ることができた」との声もいただきました。

また、同時に兵庫県尼崎港管理事務所と合同で海岸保全施設である陸開閉鎖訓練も併せて実施し、津波浸水被害を防止する閉鎖手順を確認しました。



クリーンセンター大高洲庁舎



防災講座の様子



陸開閉鎖訓練の様子

津波からの避難について考えましょう

避難行動には、海や河川からより遠くへ避難する水平避難、津波等一時避難場所や近隣の安全な3階以上の堅牢な建物に避難する垂直避難があります。

また、知人や親せきの家に身をよせたり、ホテルや旅館などへの避難も避難行動のうちの一つです。



03 災害発生時における物資の輸送及び集配拠点等の運営の協力に関する協定を締結

10月6日（月）に、市内に拠点を持つ福山通運株式会社阪神支店と災害時の物資輸送、集配拠点借用、荷捌き人員派遣、資器材の貸与等についてご協力いただくため、「災害発生時における物資の輸送及び集配拠点等の運営の協力に関する協定」を締結しました。

同社から「地域への社会貢献になれば」と申し出をいただき、今回の協定締結に至りました。

災害発生時には、避難所への避難物資運搬も必要になる中で、物流能力は極めて重要になります。

この協定により、災害時の物資輸送等のさらなる円滑化を図ることができます。



協定締結式の様子



福山通運株式会社阪神支店

04 交流・表彰について

韓国・清州(チョンジュ)市行政視察

10月15日(水)、韓国・清州市から議員と職員の皆さんが本市を訪れ、行政視察が行われました。

本市の地理的特性や災害対策の取組について紹介したところ、雨水貯留タンクやハザードマップなどに熱心に耳を傾けておられました。

また、防災行政無線機器などの設備を実際に見学され、本市の防災行政に高い関心を示されていました。

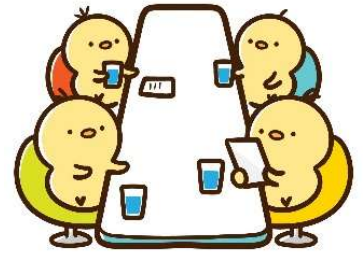


本市の防災行政の説明の様子

清州市って？

清州市は、韓国・忠清北道の道都で、ソウルから東南へ約128kmに位置する都市です。

半導体などのハイテク産業が盛んな地域であることや、世界最古の金属活字本「直指」を生んだ歴史と文化の他に、豊かな自然を併せ持っています。



戸ノ内自主防災会が令和7年度安全功労者総務大臣表彰を受賞しました。

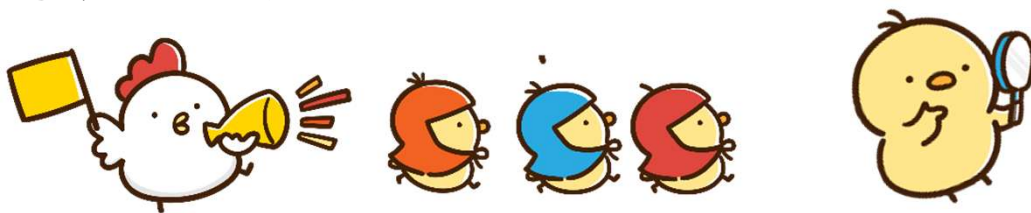
戸ノ内自主防災会が、地域に根ざした継続的な防災活動の功績により、令和7年度安全功労者総務大臣表彰を受賞しました。

同会は、消防団や防災士、市と連携した実践的な防災訓練を年1回以上実施し、要配慮者対応やペット同行避難、資機材の活用訓練などに取り組んでいるほか、地域防災マップの作成や次世代の担い手育成にも力を入れ、その姿勢は他の自主防災会の模範として高く評価されています。

また、当日は総合災害避難訓練も併せて実施され、防災クイズや水消火器を使用した消防訓練など、住民一人ひとりの防災意識を高める取組が行われました。



表彰状授与の様子



防災クイズに取り組む様子

崇徳院自主防災会が優良自主防災会として知事表彰を受賞しました。

崇徳院自主防災会が、地域の防災力向上に長年取り組んできた功績により、優良自主防災会として知事表彰を受賞しました。

同会は、市と連携した地域防災訓練の実施に加え、「ひょうご安全の日推進事業」を活用した防災資機材の整備など、継続的な活動を行っています。直近3年間の訓練では、避難行動要支援者対応訓練、炊き出し訓練、公営企業局とのマンホールトイレ・応急給水栓組立訓練、助成金で整備した発電機の操作訓練など、多様で実践的な取り組みを重ねてきました。

こうした積極的で先進的な姿勢は、市内自主防災会の模範であり、本市の地域防災力向上に大きく寄与していることから、今回の受賞につながったものです。



表彰式の様子

05 各種イベントについて

尼崎市民まつり

10月5日（日）に開催された尼崎市民まつりに防災ブースを出展しました。

あいにくの天候でしたが、中央中学校の体育館で兵庫県立武庫荘総合高校の防災ゼミである「おこっ子防災キャラバン」と一緒に防災のブースを設け、たくさんの方にお立ち寄りいただきました。防災クイズや防災パズルは子ども達に人気があり、備蓄品の展示は大人の方も興味津々で「これも用意しといたほうがいいね」と写真を撮って帰られる方もいました。

今年度は、色々なイベントでブース出展をしましたが、みなさん工夫しながら備蓄しているようで、ご質問も多くいただきました。

市HPでは、家庭や職場での防災対策を掲載していますので、是非ご確認ください。



子ども達が防災パズルを組み立てる様子



防災クイズにも興味津々

家具の転倒対策も
忘れずに！



外国人向けの防災講座

10月26日（日）に、小田南生涯学習プラザでおむかいさんぷろじえくと主催で、外国人向け防災講座「ぼうさいをたいけんしましょう！」を実施いたしました。

当日は、中国・ベトナム・ミャンマー・ネパール・モロッコ・カナダ・インドネシア、バングラデシュなど多様な国籍の方が参加し、体験型プログラムなどを通して防災への理解が進み、地域とのつながりを深めるきっかけとなりました。



二次元コードを活用した多言語による防災情報の説明

あまおだ減災の日

11月9日（日）に、兵庫県立尼崎小田高校で防災イベント「あまおだ減災の日」が実施されました。

このイベントは、同校が主催し、自衛隊、日本赤十字社、大学、企業などに声を掛け、18もの団体が協力して企画されたものです。

同校の生徒や近隣住民などが参加し、防災の講座を受けた後にそれぞれのブースをまわり、楽しみつつも真剣に防災について学んでいました。

災害対策課では、段ボールベッドの組立や防災クイズ、防災パズル、非常持ち出し品の展示を行いました。



段ボールベッドを組み立てる様子



兵庫県立尼崎小田高校の先生による講演会